

『路上脱出・生活 SOS ガイド』による 情報提供

吹き出しや支援団体、相談窓口の情報などを1冊にまとめた『路上脱出ガイド』を2009年から全国7地域で発行し、13万部以上を配布しました。17年からは、依存症やひきこもりなどの相談先も掲載した『路上脱出・生活 SOS ガイド』として東京・大阪のガイドを刷新しました。ガイドは基金のホームページでも無料公開しており、19年9月～20年8月の1年間で約34万件のアクセスがありました。



政策提案で生きやすい社会をつくる

現場の活動で見てきた社会課題に対して、専門家と連携して調査・提案をしています。貧困問題解決のための住宅政策や若者政策の提案、ホームレス当事者とギャンブル障害の関わりを聞く調査、新たな仕事づくりの模索などです。

これまでに17の報告書を発行し、8万4000部以上を無料配布しました。国会での質問資料としても活用されています。



※ 上記、各地のガイド・報告書などは無料配布しています（着払い送料のみ負担願います）。基金HPまたはFAXよりお名前、ご住所、ご希望の冊子名と部数を記入して、ご請求ください。HPよりPDF版もダウンロード可能です。

「ステップハウス」などで 住まいの確保を応援

路上生活からの脱出を応援し、安定した住まいに同居するためのサポートをしています。これまで396件のアパート入居などのサポートをしたほか、協力家主から空き家を借り受け、



東京と大阪で「ステップハウス」5室、緊急用シェルター3室を運用。7年間で延べ521人が利用しました。

コロナ禍に対する活動

2020年4月からは新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、困窮者が静養できる個室を確保するための市民ネットワークをつくり活動しました。東京では支援団体の連名で、都へホテル借り上げ型シェルの設置を求める申し入れをしました。大阪では支援団体合同の相談会を開催し、438泊分のホテルでの緊急宿泊費を提供しました。また8月からは、米国コカ・コーラ財団の助成を受け、コロナの影響で困窮した人にアパートの初期費用などを支払う「おうちプロジェクト」をはじめました。1年間で200世帯の住まいの確保を、18の支援団体と協働して応援します。



※ 上記の数字などはいずれも、2020年8月末時点のものです。

団体概要 有限会社ビッグイシュー日本を母体に2007年9月設立、2008年4月内閣府よりNPO法人の認証、2012年7月国税庁、2017年3月大阪府から認定NPO法人格を取得、2020年2月より共同代表制に移行

共同代表 米本 昌平（東京大学客員教授）
稲葉 剛（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事）
枝元 なほみ（料理研究家）



理事 佐野 章二（有限会社ビッグイシュー日本共同代表）
高野 太一（ビッグイシュー基金事務局長）
中川 康生（ビッグイシュー基金法務担当責任者）
蛭間 芳樹（会社員 / NPO法人ダイバーシティサッカー協会理事）
水越 洋子（『ビッグイシュー日本版』編集長）
監事 木原 万樹子（木原法律事務所弁護士）
相談役 雨宮 処凛（作家）

認定NPO法人 **ビッグイシュー基金**

ホームページ <https://bigissue.or.jp/>

Eメール info@bigissue.or.jp



最新の活動はビッグイシュー基金 公式 SNS をご覧ください

facebook Twitter

事務局

〒530-0003
大阪市北区堂島2丁目3-2 堂北ビル4階
TEL 06-6345-1517 FAX 06-6457-1358

東京事務所

〒162-0811
東京都新宿区水道町4-28 JC 江戸川橋ビル2階
TEL 03-6380-5088 FAX 03-6802-6074

ホームレス・生活困窮者の自立を応援し、貧困問題解決を目指す

ビッグイシュー基金



誰もが生きやすい社会を、
一緒につくりませんか？



ビッグイシュー基金は、（有）ビッグイシュー日本を母体に2007年9月に設立されました。

（有）ビッグイシュー日本は、「ホームレスの人々の救済ではなく仕事を提供すること」を目的に活動している社会的企業です。雑誌を制作し、その販売をホームレスの人々に独占してもらい、1冊450円の雑誌の売上の50%以上を収入にできるという仕組みをつくってきました。

基金は、ホームレスの人々の自立のためには、仕事づくりだけでなく、住宅、福祉、就業、スポーツ・文化など総合的なサポートが必要であるという考えのもと、さまざまな事業を展開してきました。また、ホームレス問題、貧困問題の解決に向けたネットワークづくりや政策提案、市民参加の呼びかけにも力を入れてきました。

基金設立から13年。官民の支援が大きく広がったことにより、路上生活者の数は激減しました。しかし、その一方でネットカフェなどの不安定な居所で生活せざるをえない若者が増加するなど、貧困問題は世代を越えて拡大しています。

一人ひとりに居場所と出番があって、本人の選択が尊重され、困った時は誰かに相談できる。誰もが生きやすい社会をつくる私たちの取り組みに、ぜひあなたも参画してください。



“つながって生きる”社会へ 3つの事業

ビッグイシュー基金は誰もが生きやすい社会を目指して、3本柱の応援事業を展開しています。

1 つながって生きる ホームレスの自立応援プログラム

大丈夫、
あきらめない

当事者への情報提供と交流

全国各地で『路上脱出・生活SOSガイド』の制作と配布。当事者の「月例サロン」、パーティなど道端交流会もすすめます

普通の暮らしを
取り戻したい

生活自立応援

定期的な健康相談会の開催や、住宅・仕事・生活・法律・福祉などの相談対応、貯蓄応援などの活動を行います

仕事が
したい

仕事・就業応援

生活に困った人が販売できる雑誌『ビッグイシュー』の販売をはじめ、就労を支援する団体と連携して仕事応援プログラムを展開します

生きていて
よかった

スポーツ・文化活動応援

自立への心の準備を促し人間関係をつくる。フットサル、ダンス、歩こう会、英会話、パソコン、講談などの市民と当事者による自主的なクラブ活動を応援し、元気になってもらいます



2 生きやすい社会をととのえる ホームレス・貧困問題解決の ネットワークづくりと政策提案

新しい仕事を
つくる

若者のホームレス化を防ぐ ネットワークと仕事づくり

若者の路上化予防のために、小規模でも持続可能な仕事づくりと社会問題の解決を同時に進める「シビックエコノミー」運動を応援します

くらしの
基盤をつくる

住宅政策提言やステップハウス

ホームレス状態や排除と貧困の状況を変えていく基盤として、住宅政策の提言やステップハウスの実験的運営などを行います

誰もが
生きられる

ギャンブル障害の調査・提案事業

ホームレス状態からの脱出を阻む壁であるギャンブル障害の問題に取り組みます

3 市民が社会をつくる ボランティア活動と市民参加

参加の
“チャンス”を
つくる

ボランティア参加プログラム

当事者へ『ガイド』を手渡しなど、1,000人余の登録ボランティアとともに、基金の活動を広く市民や社会に開きます

寄付はいま
最も有力な
社会への参加

寄付参加プログラム

市民応援会員や寄付メニュー、遺贈、その他の多様な新たな寄付参加機会をつくります

市民
信頼社会
をつくる

人々が100%包摂される社会を目指す

当事者・市民とともに、誰もが排除されず、すべての人に居場所と出番のある包摂社会を目指します

ボランティアとして
基金の活動に参加する

基金の活動は、多くのボランティア参加により支えられています。東京、大阪で月1回、オンラインなどでの説明会を開いています。参加希望者はメール、電話などでお気軽にお問合せください。

その他の応援・参加の方法

物品を寄付する 時季により衣類などの寄付を募集しています。募集物品はHPよりご案内しています。

SNSをフォローする Facebook、Twitterで最新の情報をお伝えしています。フォローや拡散などのご協力をお願いします。

ボランティア活動の具体的なメニュー例

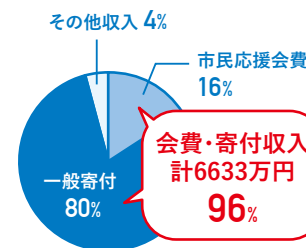
当事者への『ガイド』の手渡し / 全国各地のビッグイシューサポーターズへの参加 / 路上生活者訪問への同行（夜回りなど） / 歩こう会、サッカーなどクラブ活動への参加や協力 / 様々なイベントでのボランティア / 雑誌の路上販売のサポート / 事務所内作業（月2回の会報[雑誌]送付、おにぎり・スポーツドリンクづくりなど） / 専門的スキルを生かしたプロボノ（法務、調査、健康相談、パソコン、翻訳、ヘアカットなど） / その他

社会を変えるのはあなたの寄付です

認定NPO法人であるビッグイシュー基金への寄付は、税制優遇の対象になります。寄付額の4割弱が納めた所得税から返金されます（上限額は所得税額の25%まで。一部の地域では個人住民税も控除の対象）。これは、公のことはすべて国が税で賄うという建前を変え、公を認定NPO法人にも担ってもらい、その分、税の一部を返金する、という仕組みです。公共の仕事を、「税＝国家」にするのか？「寄付＝NPO」にするのか？を選んで決めるのは、納税し寄付するあなたです。

第13期（2019年9月～2020年8月）では収入6926万円のうち、市民応援会費、一般寄付の収入が96%を占めました。こうした寄付参加に支えられ、激変する貧困・社会の問題に対して、「いま、必要なこと」を考え、実行する活動が続けられています。

基金では、2つの市民応援会員、5つの寄付メニュー、任意額寄付、遺贈・相続財産の寄付など寄付参加の機会をつくりました。寄付による社会変革、あなたも参加しませんか。



寄付メニュー 税制優遇の対象。「(寄付金合計額 - 2千円) × 40%」が納めた税金から返金（確定申告が必要）されます

5つの寄付メニューは、寄付が今後ますます有力な社会参加になる、という点から、参加のかたちを表す名称をつけました。下記のほか、任意の金額での寄付も随時受け付けています。

※ 雑誌送付などの特典はありません。毎月発行のニュースレター、年次報告書（年1回）をお送りします。領収書は1月～12月入金分をまとめて翌年1月下旬に発行・送付させていただきます。



出会い寄付

5,000円 / 1口
（返金額は1,200円）



つながりウォーク寄付

10,000円 / 1口
（返金額は3,200円）



実践応援ラン寄付

20,000円 / 1口
（返金額は7,200円）



社会包摂マラソン寄付

50,000円 / 1口
（返金額は19,200円）



市民信頼社会寄付

100,000円 / 1口
（返金額は39,200円）

任意額寄付 事務手続き上1,000円からの受付となります。

マンスリー寄付 月額1,000円×1口～（HPから受け付けています）

法人寄付 損金算入限度額の枠が拡大されます。

遺贈・相続財産の寄付 寄付された相続財産には相続税がかかりません

これまでに18人より遺贈・相続財産のご寄付をいただきました（2020年8月現在）。ご寄付はそのご遺志を尊重して、基金の活動に有意義に活用させていただきます。

* 遺贈、相続財産の寄付をお考えの時には、お気軽に電話・Eメールでご連絡ください。当基金の顧問弁護士へのご相談（無料）も可能です。

市民応援会員メニュー 特典があります。（税制優遇はありません）



にっこり応援会員

会費：15,000円／年（誌代相当分を含む）
『ビッグイシュー日本版』を1年分24回送付
& 雑誌の「基金通信」最新号にお名前を掲載ほか



ひとり立ち応援会員

会費：50,000円／年（誌代相当分を含む）
『ビッグイシュー日本版』を1年分24回送付&雑誌の「基金通信」に1年間お名前を掲載ほか
*「ひとり立ち応援会員」は企業・団体の方にもお申し込みいただけます

企業・団体「社会再生サポーター」メニュー 特典があります。（税制優遇はありません）

- **キャリア再形成・サポーター会員** 会費：250,000円／年
- **社会復帰・サポーター会員** 会費：500,000円／年
- **社会再生・サポーター会員** 会費：1,000,000円／年

*『ビッグイシュー日本版』1冊を1年分24回送付、雑誌に1年間お名前掲載などの特典があります。（年会費に誌代相当分を含みます）

〈振込み〉 郵便振替 口座番号：00960-6-141876 口座名義：NPO 法人ビッグイシュー基金
銀行振込の場合、こちらでお振込人の情報を特定できませんので、銀行をご希望の場合は事務局までご連絡ください
〈クレジットカード〉 ビッグイシュー基金ホームページからご利用いただけます。 <https://bigissue.or.jp/>